

平成21年度水産研究所研究評価委員会 中間評価結果

1. 日時 平成21年10月7日 午前10時から午後4時まで

2. 場所 水産研究所 会議室

3. 評価対象の研究課題

研究課題名(1)「環境対応負荷低減型真珠養殖管理技術の開発」

研究課題名(2)「沿岸遊休地等の干潟・藻場再生・回復手法の開発」

研究課題名(3)「英虞湾における既設干潟・藻場の長期的変化の把握」

研究課題名(4)「陸起源物質が海域の1次生産等に及ぼす影響の解明」

研究課題名(5)「底泥の堆積過程の解明と堆積抑制手法の開発」

研究課題名(6)「イセエビ種苗の効率的安定生産に関する研究」

5. 評価結果

評価項目を研究の進捗状況、目標達成の可能性、課題の取り扱い（研究継続の可否）とし、それぞれの課題について評価を受けました。委員会における評価結果の概要は以下の通りです。

中間評価結果

| 課題名 | 進捗状況 | | | | 目標達成の可能性 | | | | 課題の取り扱い | | |
|-------------------------|------|------|------|----|----------|----|------|-------|-----------|-------------|-------|
| | 計画以上 | 目標通り | やや遅れ | 遅れ | 非常に高い | 高い | やや低い | 極めて低い | 継続して完成させる | 課題整理予算縮小が必要 | 中止すべき |
| 環境対応負荷低減型真珠養殖管理技術の開発 | | 2 | 2 | | | 4 | | | 4 | | |
| 沿岸遊休地等の干潟・藻場再生・回復手法の開発 | 4 | | | | 3 | 1 | | | 4 | | |
| 英虞湾における既設干潟・藻場の長期的変化の把握 | 1 | 3 | | | 1 | 3 | | | 4 | | |
| 陸起源物質が海域の1次生産等に及ぼす影響の解明 | | 4 | | | | 4 | | | 4 | | |
| 底泥の堆積過程の解明と堆積抑制手法の開発 | | 4 | | | | 3 | 1 | | 4 | | |
| イセエビ種苗の効率的安定生産に関する研究 | | 4 | | | | 3 | 1 | | 4 | | |

数字は委員4名中の該当委員数

評価を受けた課題の中には進捗がやや遅れているものもありますが、評価項目の「課題の取り扱い」において、すべての課題で“継続して完成させるべき”との評価を頂きました。これは、水産業界を取り巻く厳しい環境を受けて、研究による成果を早く達成し、それを現場で実践することが重要であるとの意見と考えています。従いまして、現場で活用できる成果を早く得ることを目標として、評価を受けた6つの研究を継続することとしました。